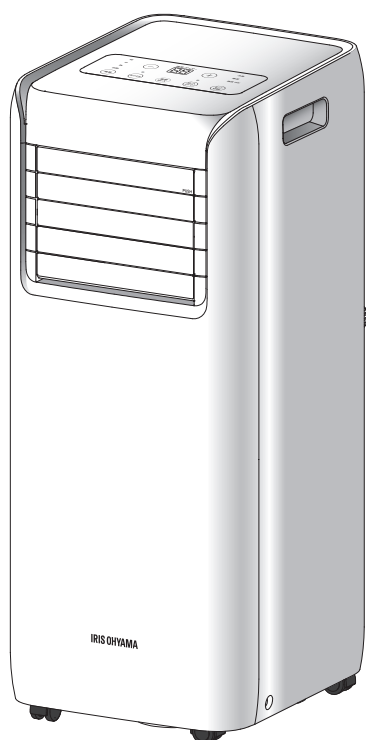


ポータブルクーラー

IPA-2202G

取扱説明書



最新の取扱説明情報は当社WEBサイトで
ご覧いただけます。
[https://www.irisohyama.co.jp/products/
manual/categori.asp?cid=3&bid=76](https://www.irisohyama.co.jp/products/manual/categori.asp?cid=3&bid=76)



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	7

取り扱いかた

運転前の準備	9
使いかた	18
お手入れ	23

こんなときには

故障かな？と思ったら	24
エラーが表示されたときは	25
仕様	26
長期使用製品について	27
保証とアフターサービス	27
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードについて



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- 電源コードを傷付けない
傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重い物を載せる、挟み込む、持ち運び時や収納時に引っ張るなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 延長コードは使用しない
- 電源コードを抜いてポータブルクーラーを停止しない
火災・感電の原因になります。

設置について



- 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管する
誤って被ったときに、窒息死の原因になります。
- 付属品は、重量に耐える場所に確実に取り付ける。また、取り付けは必ず付属の窓パネルや指定の部品を使用し、正しく行う
取り付けが不十分ですと、落下によるけがの原因になります。
- 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- 可燃性ガス（殺虫剤など）を吹きつけないでください。また、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料などその他引火性のもの、爆発のおそれのあるものの近くでは使用しない
爆発・火災・故障・変形の原因になります。
- 暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所では使用しない
故障・変形の原因になります。



アースを接続

- アースを取り付ける
アースを取り付けることをおすすめします。アースを取り付けしないと、故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。ただし、下記のような場所で使用する場合は、必ずアースを取り付けてください。
 - ・ 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
 - ・ 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところアース工事（D種接地工事）を行うときは、販売店または専門業者に依頼してください。ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しないでください。感電の原因になります。

異常時には



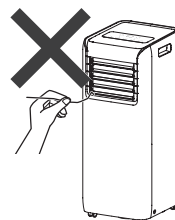
プラグを抜く

- 直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 内部に水・異物などが入った
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 変形したり、ひび割れしたりしている
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

禁止事項



- 吸込口・吹出口・排気口にピンや針金などの異物、また指を入れない
本体内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書のとおり正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

本体について



- 商品を分解したり修理・改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
- 本体の上に物を載せない
- 本体に洗濯物などをかけない
落下して、けがや火災の原因になります。
また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。
- 吸込口・吹出口・排気口をふさがない
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。
- 風の流れをささげるようなものを周囲に置かない
過熱して火災の原因になります。

お手入れについて



- 付属品の取り付け・取り外しやお手入れをする際は、手袋をはめる
けがの原因になります。



- お手入れのときは、不安定な台に乗らない
転倒してけがの原因になります。
- 本体内部の金属部に触れない
けがをするおそれがあります。

安全上の注意 つづき



- 屋外では使用しない
故障・感電の原因になります。
屋内あるいは準屋内(屋根があり直射日光や雨があたらない場所)で使用してください。
- 障害物(カーテンなど)の近くや不安定な場所(傾斜がある場所など)では使用しない
本体転倒・事故・故障の原因になります。
- 押し入れや家具のすき間、机の下など狭い場所では使用しない
発火・故障の原因になります。
- 次のような場所では使用しない
 - ・ ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所
 - ・ 温室やビニールハウスなど湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所
 - ・ 工場内や飲食店、厨房などの油のつきやすい場所
 - ・ 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所
 - ・ 火花が散るような場所
 - ・ 加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所感電・火災・破損・故障の原因になります。
- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
ポータブルクーラー内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
- 長時間冷風を身体に当てない



- 冷風温度を下げすぎない
特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。



- 本体を移動するときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行ってください。また、引きずっての移動は絶対にしないでください。畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する
水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電・火災の原因になります。また、床を傷つけたり、けがの原因になります。
- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。
- 燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

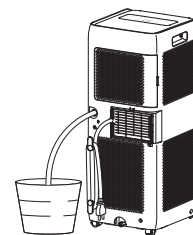
電源プラグ・電源コードについて



- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く
けがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- ルームエアコンなどと構造が異なりますので、簡易的な冷房としてお使いください。
付属の排気ダクトや窓パネルを使用せずに閉め切った室内で使用すると室温が上昇します。
- 室温が16～35℃の範囲でお使いください。
指定の温度範囲外で使用すると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。
- 使用環境やお部屋の状況によっては、十分な能力を発揮できない場合があります。
- 排気処理を適切に行ってください。
付属の排気ダクトや窓パネルを適切に使用してください。
- 電源プラグを抜き差しして再度運転する場合は、3分以上待ってください。
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一度運転を停止して電源プラグを抜いてください。再度運転する場合は、3分以上待ってから再度運転させてください。
- 直射日光が当たる場所に設置しないでください。
製品内部の温度が上昇し、運転が停止する（エラーが表示される（→P25））おそれがありますので、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
- エアークフィルターをはずした状態で使用しないでください。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアークフィルターのお手入れはこまめに行ってください。
エアークフィルターにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。
また、エアークフィルターをはずしたまま運転をすると内部にごみが付着し、故障の原因になります。必ずエアークフィルターを取り付けてお使いください。
- 無理やり可動部に力を加えないでください。
動かなくなったらそれ以上は可動させないでください。無理に動かすと、故障や破損の原因になります。
- 熱の発生は少なくしてください。（冷風・除湿運転時）
室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。
- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。
電波障害の原因になります。
- 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。
- ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取りはずさないでください。
水もれの原因になります。
- 騒音に注意してください。
設置場所や本機自体の振動などにより騒音を発生する場合があります。
 - ・ 排気口からの風の騒音
 - ・ 排気口からの風が近傍のものに当たったときの騒音
 - ・ 不安定な場所に設置したときの振動による騒音
- 窓パネルは、雨どいの真下を避け、強い風などにより窓から雨水が浸入しない場所に取り付けてください。
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取りはずしてください。
室内を汚す原因または破損の原因になります。
- 連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意してください。
- ドレン水を受けている容器の水量をこまめに確認し、ホースの先はドレン水に浸からないようにしてください。
ドレン水が室内にこぼれて、家財などをぬらす原因になります。ドレン水が室内にこぼれて、家財などをぬらす原因になります。また、就寝時など排水の状況を確認できないときは、連続排水をしないでください。



異常時は

- ポータブルクーラーを運転しても冷えないときは、以下について確認してください。
 - ・ お部屋が閉め切られていない
 - ・ 窓パネル・排気ダクトが正しく取り付けられていない
 - ・ シャッターが開いていない
 - ・ 室内の温度が高すぎる（低すぎる）上記を確認しても改善しない場合、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は人体に対して無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

使用上の注意 つづき

廃棄について

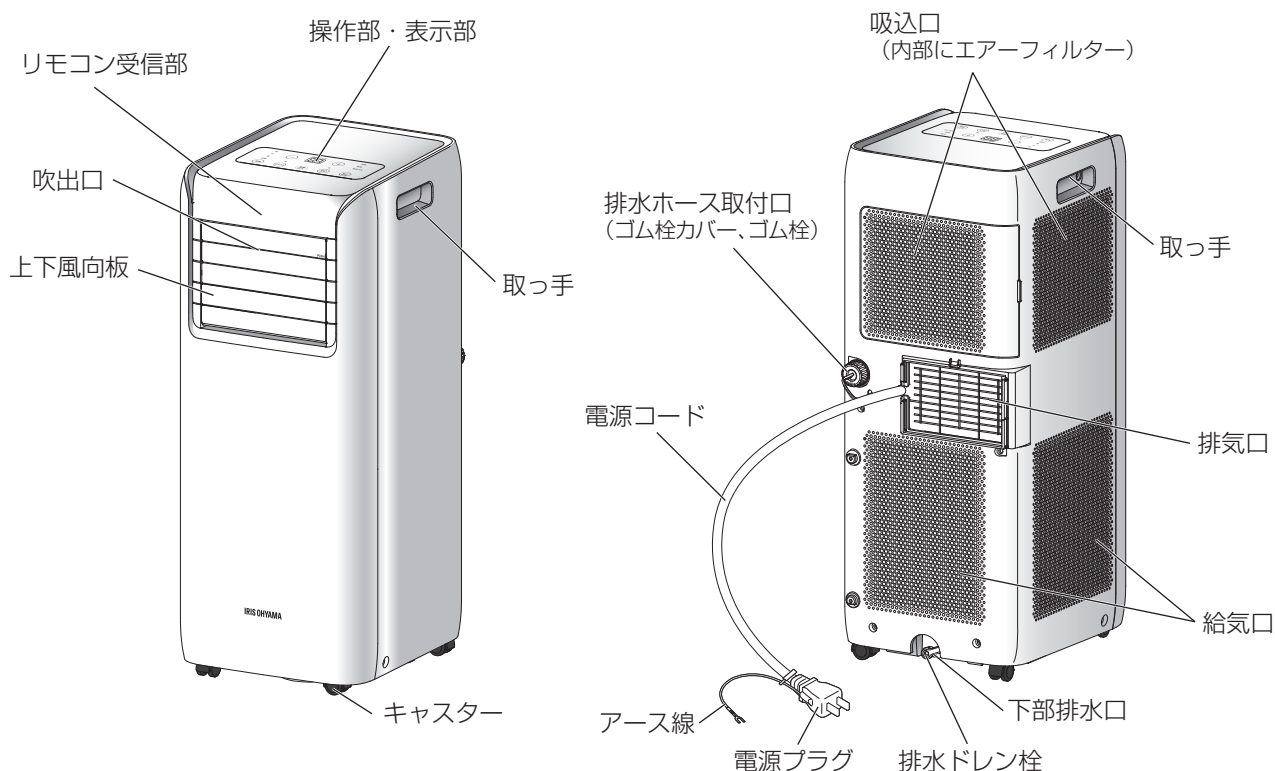
- この製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
- 廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

知っておいて欲しいこと

- 運転中に停電した場合、停電復帰後に停電前の運転モードで運転を再開する機能があります。
- リモコンは落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- リモコンの受信距離は正面で約7 m以下です。室内に電子点灯形（インバータ形）の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- リモコンの送信部を本体正面に向けて操作してください。本体正面以外へ向けると動作しないことがあります。
- リモコンの送信部と本体正面の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- リモコン操作をしても動作しない場合、または本体表示部またはランプ表示が出ていても動作しない場合は新しい乾電池に2本とも交換してください。動作が正常でない場合は、乾電池を抜き取り5秒以上経過してから、再度セットし直してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長期間（1か月以上）使用しないときは、乾電池を取りはずしておいてください。
- 故障の原因になりますので、むやみにボタン操作を繰り返さないでください。
- 本機は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。
- 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- テレビやラジオなどAV機器や電波時計から2m以上離して使用してください。
映像の乱れや雑音が入るおそれがあります。

各部の名称

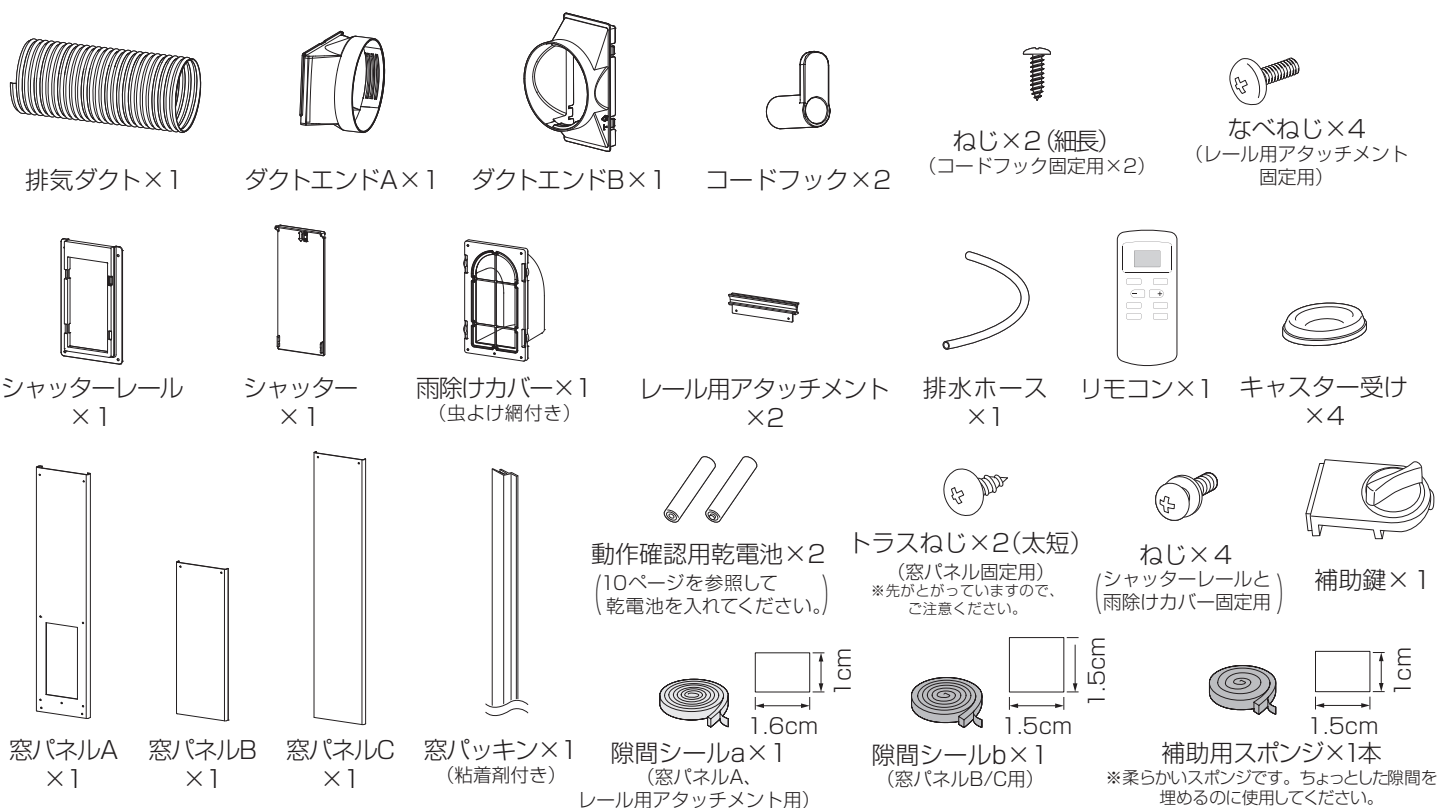
■本体



注意

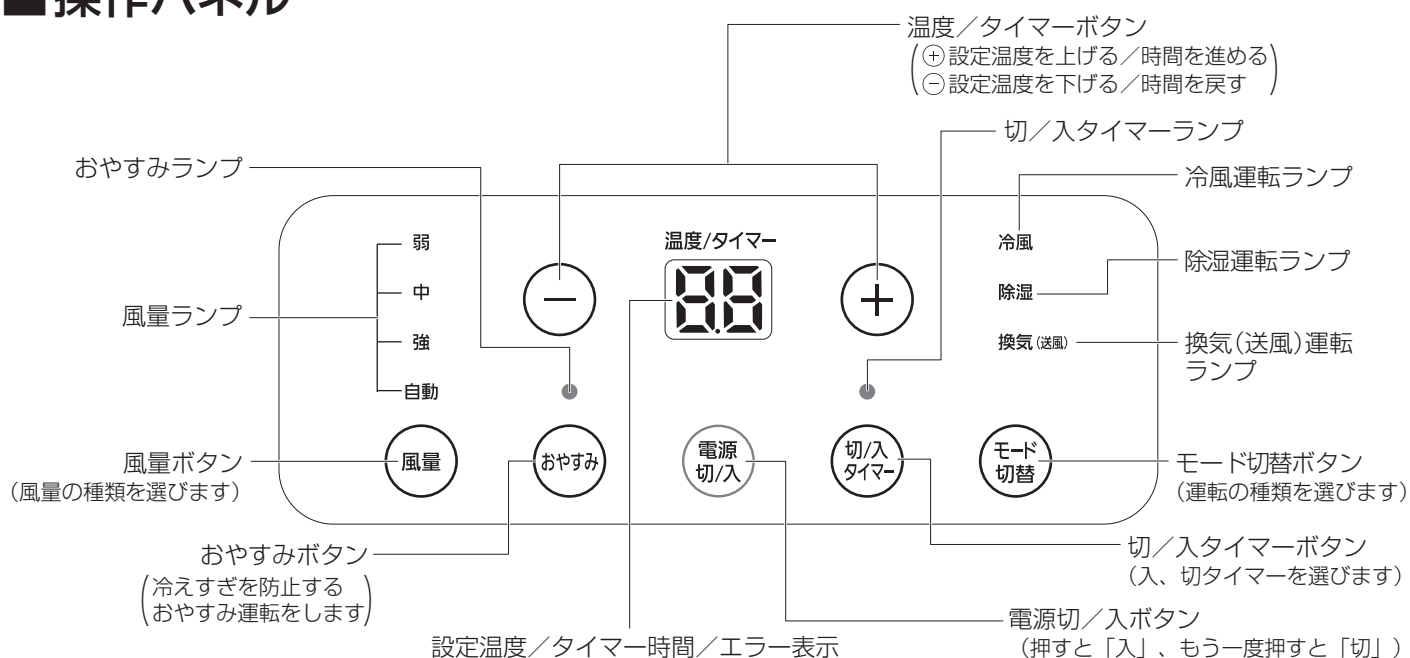
●ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取り外さない。
水もれの原因になります。

■付属品

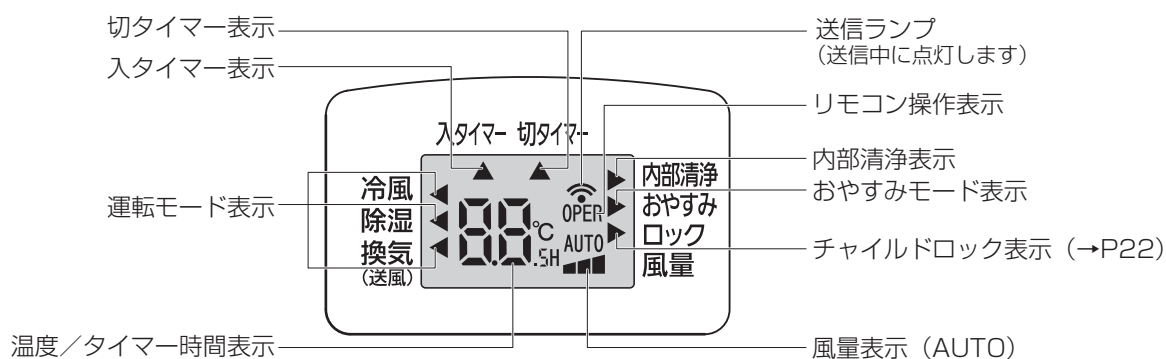
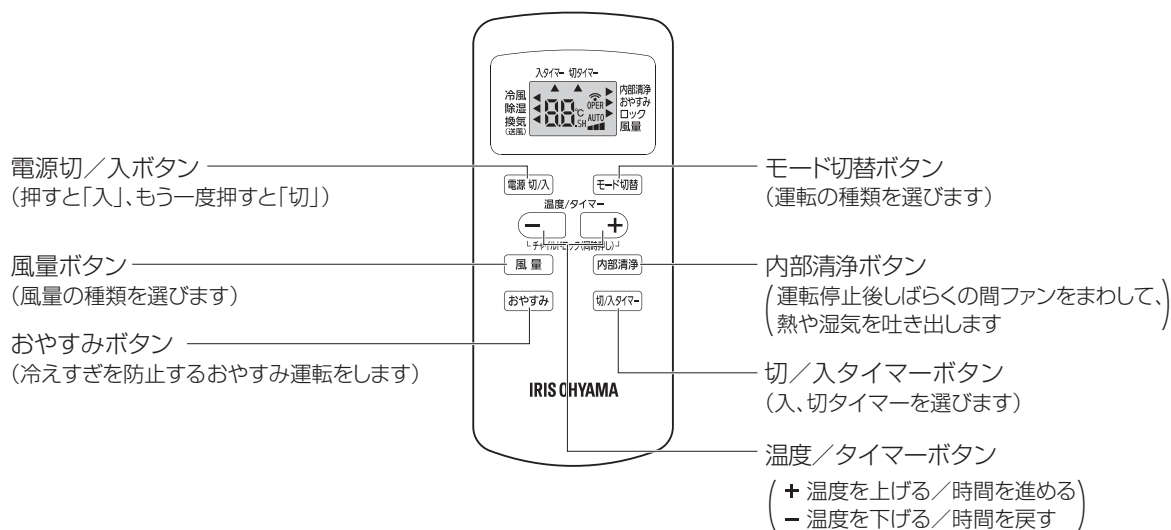


各部の名称 つづき

■操作パネル



■リモコン



- モード切替と「-」ボタンを同時に押すと、温度表示が摂氏(°C)/華氏(°F)に切り替わります。
- リモコンで本体を操作した時、リモコンの液晶表示と本体の表示が違う場合、リモコンの表示と違う動作をすることがあります。その場合は、リモコンの電源ボタンを押して本体の電源を切/入してから、再度使用してください。
- リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始(電源切/入)と入タイマーの設定(切/入タイマー)以外は、リモコンでの操作ができません。電源切/入ボタンを押して、OPER表示を点灯させから操作してください。

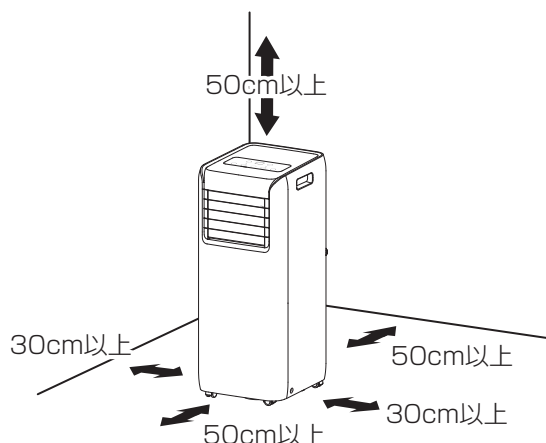
運転前の準備

1 本製品を設置する



- 必ず2人以上で設置・移動を行ってください。

- ・効率よく運転するために下図のスペースを確保してください。
- ※平らでしっかりとした床面に設置してください。
- ※上方の棚などからも、物が落ちない場所に設置してください。
- ※直射日光のあたらない場所に設置してください。

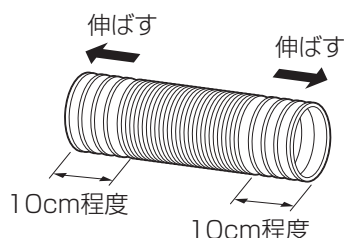


2 排気ダクトを取り付ける

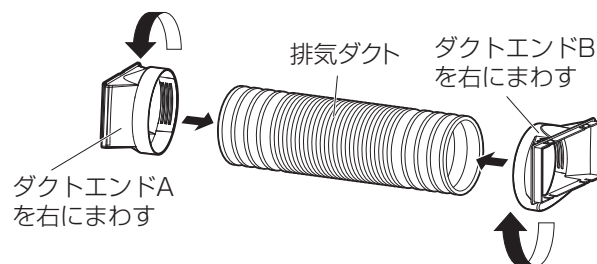


- 排気ダクトは排気口に必ず取り付けて正しく設置してください。
排気ダクトを取り付けず、また、誤った設置状態で使用すると能力が低下することがあります。
- 排気ダクト内の金属ワイヤーや排気ダクト端面の取り扱い時は、けがをしないようご注意ください。

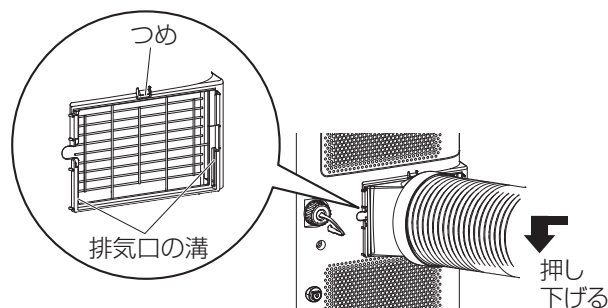
- ・排気ダクトの片端を10cm程度伸ばしてください。



- ・ダクトエンドA・ダクトエンドBを排気ダクトに挿入し、奥まで3～4周ぐらい右にまわして固定してください。



- ・ダクトエンドAを排気口の左右の溝に差し込んで、つめで固定されるまで押し下げてください。
- ※排気ダクトをはずすときは、つめを押しこみ、排気ダクトを引きながら、上に持ち上げてはずしてください。



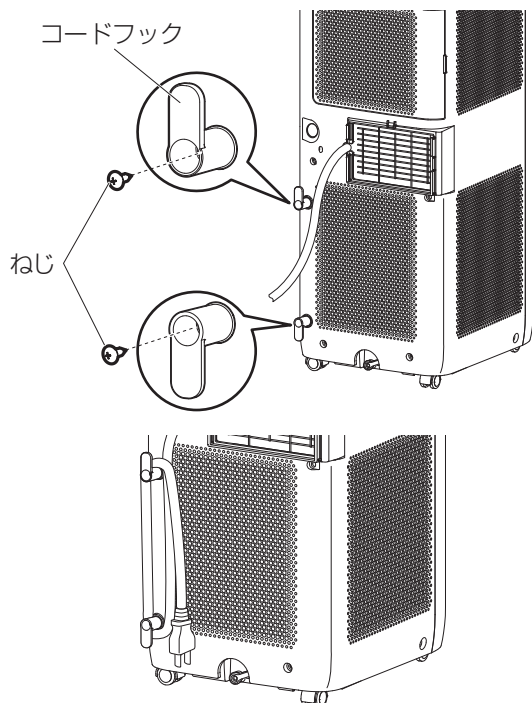
- ・排気ダクトを適当な長さに伸ばして、適切な場所に設置してください。
排気ダクトを調整するときは、ダクトエンドA・ダクトエンドBの根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

運転前の準備 つづき

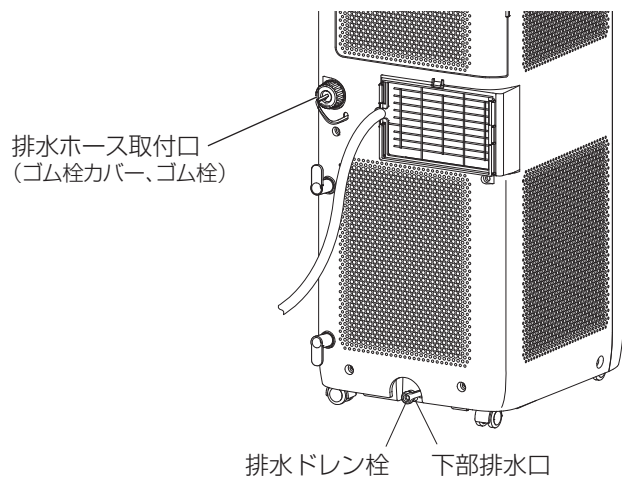
3 コードフックを取り付ける

- ・コードフックをおさえながら、2か所をねじで固定してください。

※コードを収納するときに使用します。



4 排水ホース取付口のゴム栓カバー、ゴム栓、下部排水口の排水ドレン栓が確実に差し込まれていることを確認する

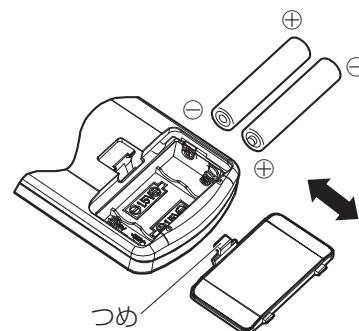


5 リモコンに乾電池を入れる

- ・リモコンの裏ぶたのつめを引いて取りはずし、 $\oplus\ominus$ を間違えないように、乾電池を入れてください。

※単4乾電池2本が必要です。

※同梱されている電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。



■ 窓パネルの組立と取付

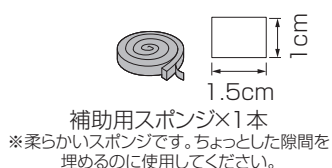
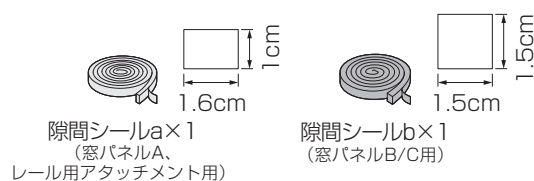
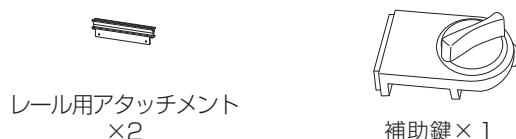
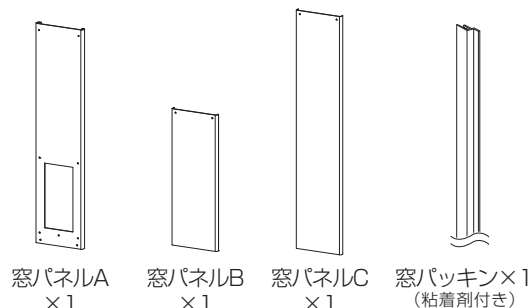
窓パネルの組み立てと取り付けの詳細は弊社WEBサイトの動画でも確認いただけます。



注意

- 運転時は窓パネルを使用することをおすすめします。
- 雨どいの真下は避け、強い風などにより窓から雨水が浸入しない場所に取り付けてください。室内を汚す原因になります。
- 排気口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音を発生する場合がありますので注意してください。
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- 鉄製の窓や特殊な窓には取り付けできないことがあります。
- シャッターを閉じたままで、本体を運転しないでください。
うまく排気できず、故障の原因になります。
- 外出する時は、窓パネルを取り外し、窓を閉め、窓自体の鍵をかけてください。
- 窓パネルの取り付ける場所は重量に耐えるところに、確実に行ってください。
取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 取り付けは、必ず付属の窓パネルや指定の部品を使って正しく取り付けてください。
取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 窓パネルの移動や再設置をする場合には、確実に行ってください。
取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 作業時は、手袋などの保護具を着用してください。

■ 使用する付属品



■組み立てと取り付けの詳細



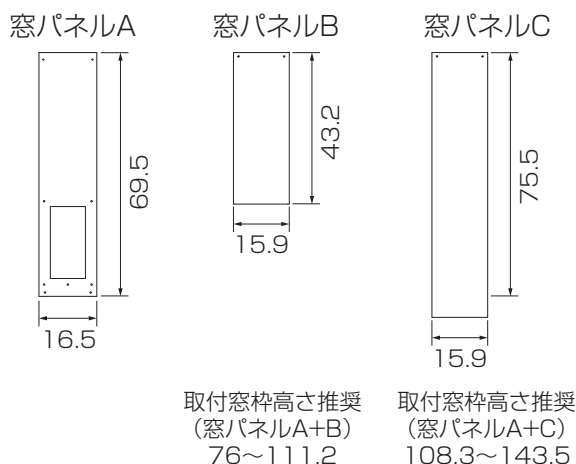
- 組み立てや窓への取り付けは、周囲の安全を確認してから行ってください。
けがの原因になります。

準備いただくもの：プラスドライバー、はさみ(カッター)、
ペン(印付け用) など

1 使用する窓パネルを選ぶ

- ・窓枠にあった窓パネルのセットを選んでください。

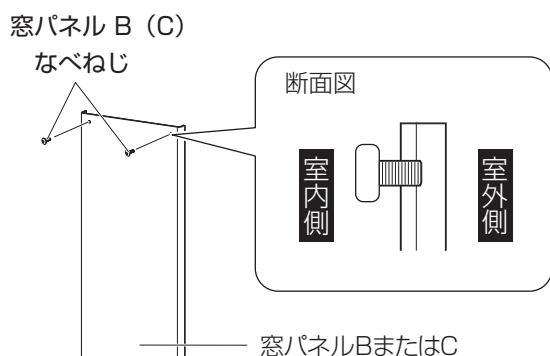
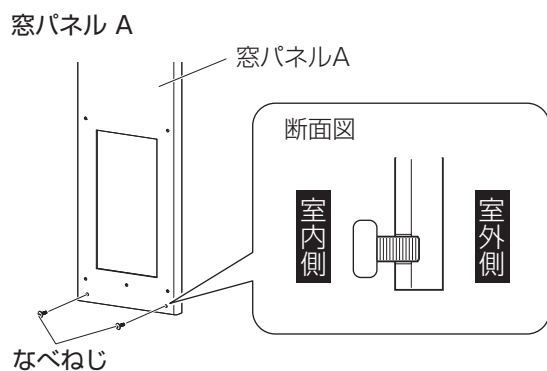
※ 単位cm



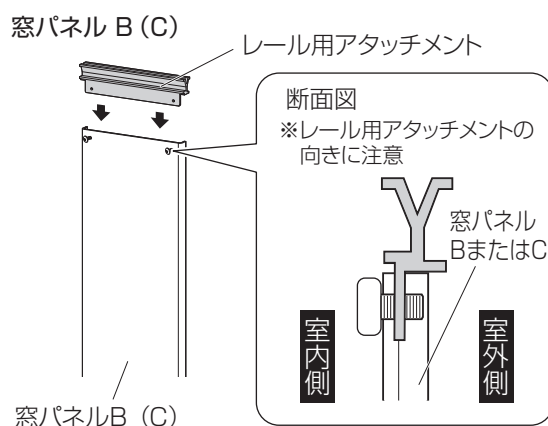
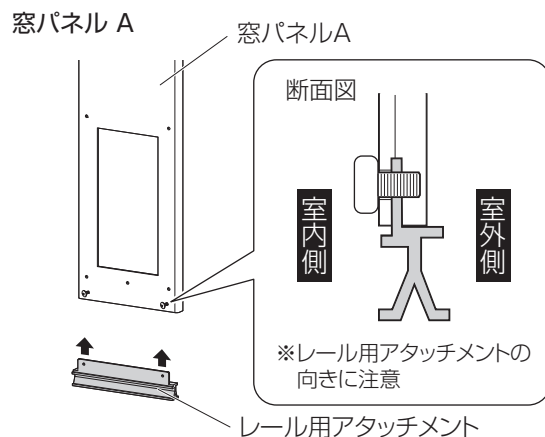
2 レール用アタッチメントを取り付ける

- ・窓パネルA、B (C) にレーン用アタッチメントを取り付けてください。

- ①窓パネルから少しなべねじが出るくらいまで、軽くなべねじを締めてください。



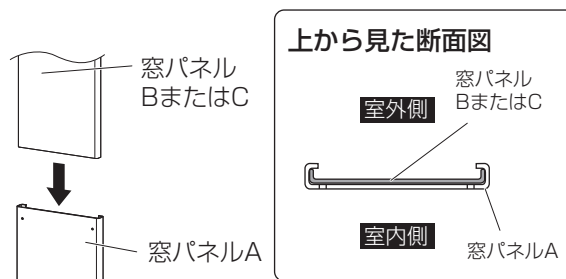
- ②少し出たなべねじにレーン用アタッチメントの穴を合わせ、窓パネルに押しつけながらなべねじを締めてください。
- ・レーン用アタッチメントの向きに注意してください。



3 取り付ける長さを決める

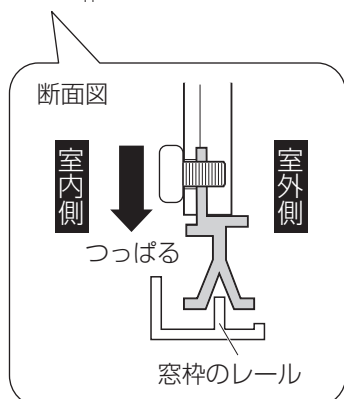
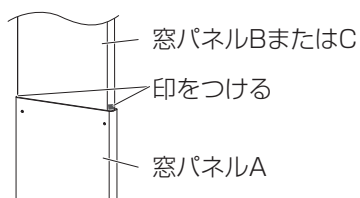
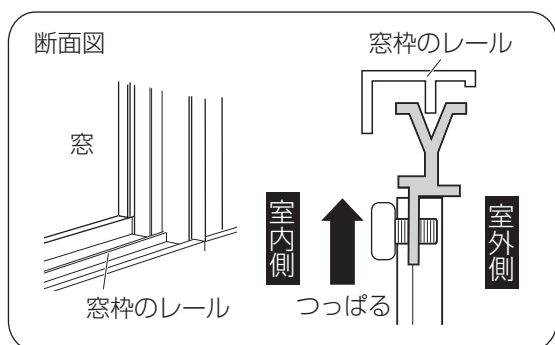
- ・必ず窓の戸と同じレーンに取り付けてください。

- ①窓パネルAに窓パネルB (C) をスライドして入れてください。



- ②窓枠の下側のレーンに合わせて窓パネルを取り付けてください。

- ③窓枠の上側のレールに合わせて窓パネルB (C) を **しっかりと上下につっぱり**、窓パネルAの上端に合わせて、窓パネルB (C) の左右の側面にペンで印を付けてください。

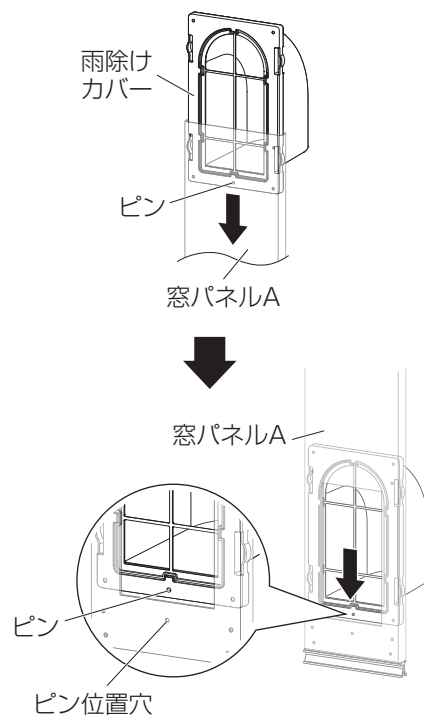


- ④一度、窓枠から窓パネルを取り外してください。

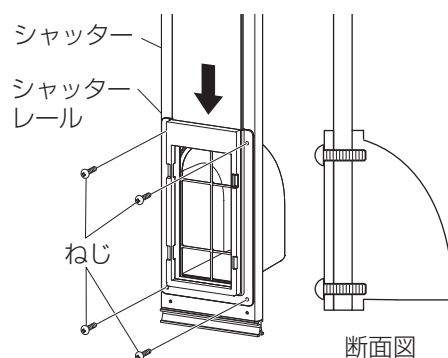
4 雨除けカバーを取り付ける

- ① 雨除けカバーを窓パネルAにスライドして入れてください。

窓パネルAのピン位置穴と雨除けカバーのピンを合わせてください。

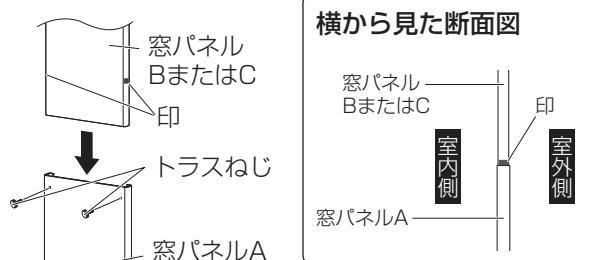


- ② シャッターをシャッターレールと窓パネルAの間に挟みながら、雨除けカバー、窓パネルA、シャッターレールを一緒にねじで締めてください。



5 3で付けた印に合わせてトラスねじで固定する

- トラスねじの先がとがっていますので、ご注意ください。



つづく→

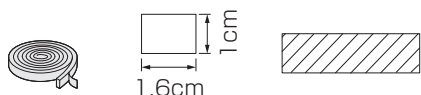
運転前の準備 つづき

6 窓パネルA、B(C)の長さに合わせて隙間シールを貼る

- 隙間シールa、bを窓パネルの長さに合わせてはさみなどで切り、窓パネルの側面に貼ってください。

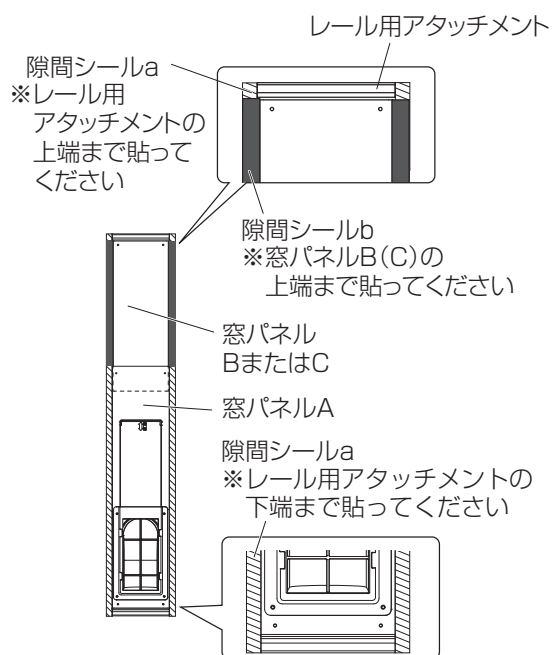
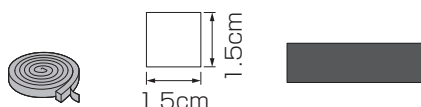
隙間シールa:

厚さ1cm、幅1.6cm、少し硬い



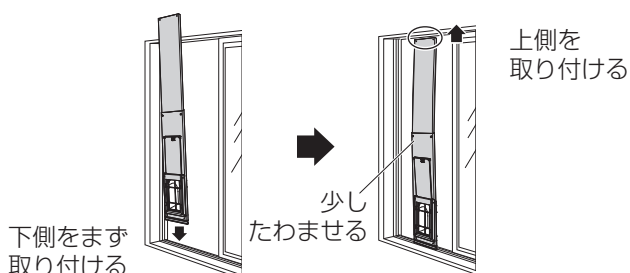
隙間シールb:

厚さ1.5cm、幅1.5cm、少し硬い



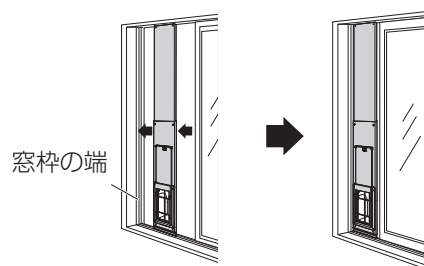
7 窓枠に窓パネルを取り付ける

- 窓パネルを窓枠下側のレールに合わせて取り付け、手前にたわませながら窓枠上側のレールに合わせて入れてください。
- 必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。



8 窓パネルを窓枠の端に移動させる

- 窓の戸で押して窓のレールと平行に移動させるとスムーズに移動できます。

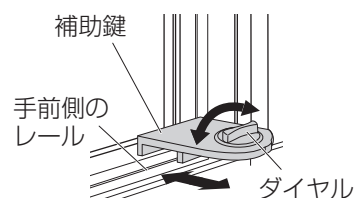


9 補助鍵を取り付ける

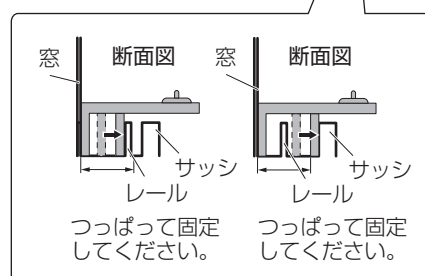
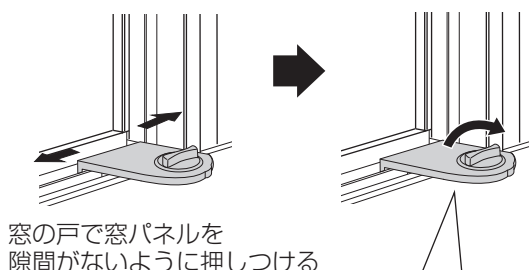


- 盗難、事故などを補償するものではありません。必要に応じて窓パネルは外してください。
- 補助鍵のダイヤルを強く締めすぎないでください。窓枠や窓を傷めることがあります。
- サッシの形状などにより補助鍵を取り付けできない窓もあります。

- ①補助鍵のゴム部品が奥の窓と手前のレールとの間、または手前のレールをまたぐようにダイヤルを回して取り付けてください。

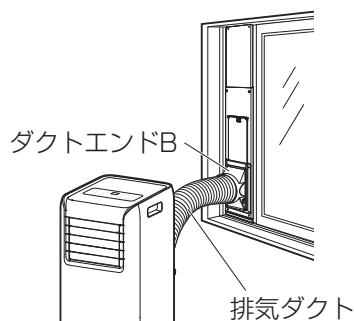


- ②奥と手前の窓を隙間がないように、それぞれ端や窓パネルに押し付けながら補助鍵を移動させて、奥の窓と手前のレール（サッシ）でつぶさるまで補助鍵のダイヤルを回して固定してください。



10 シャッターを開けて、本機のダクトエンドBを取り付ける

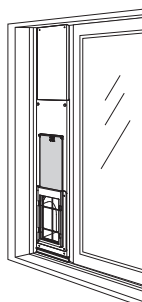
- 取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になりますので、注意してください。
- ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込むとき、サッシにダクトエンドBがあたらないように注意してください。



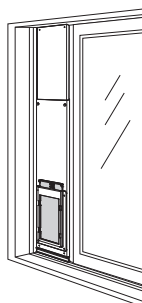
<シャッターの使い方>

排気ダクトを使用しないまたは運転しない時、シャッターを閉じることで、室外からの臭いや埃などが、部屋へ入らないようにできます。

- 本体を運転する時：ロックするまでシャッターを上をスライドする。(開状態)



- 本体を運転しない時：ロックを外し、シャッターを下をスライドする。(閉状態)

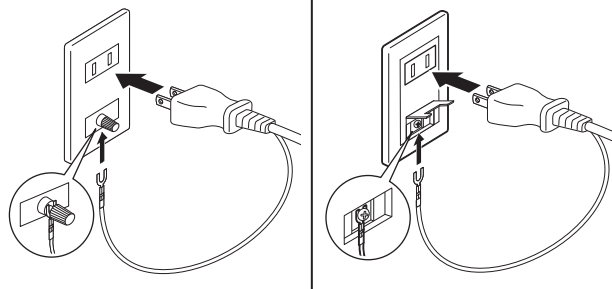


11 電源プラグをコンセントに差し込む

- アースを取り付けることをおすすめします。ただし、湿気の多い場所や水気の多い場所では必ずアースを取り付けてください。

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の端子を、コンセントのアース接続端子に差し込んで固定します。
- ふた付きの場合は開けて接続してください。



アース端子付きコンセントがない場合

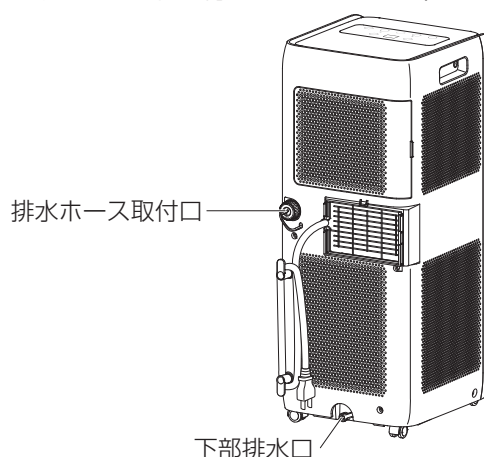
- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事に相談してください。



警告

- ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しないでください
感電の原因になります。

- 移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水ホース取付口と下部排水口からドレン水を捨ててから行ってください。抜いたゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は元通りに取り付けてください。(→P17)



- コンセントの差し込みがゆるいときは、そのコンセントは使用しないでください。
電源プラグの発熱・発火の原因になります。

運転前の準備 つづき

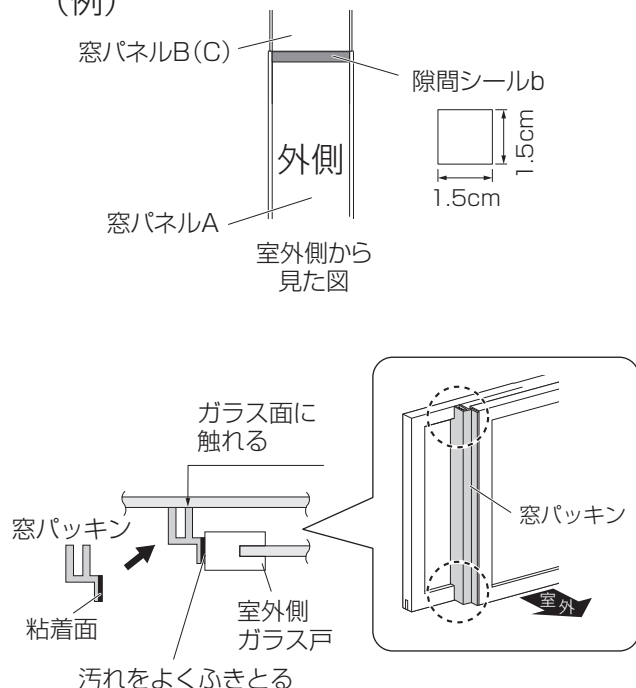
■ 外気や虫などの侵入が気になる場合

必要に応じて残ったスポンジや付属の窓パッキン、補助用スポンジ（やわらかい）で隙間をふさいでください。

窓パッキンは窓の戸の形状・長さに合わせてはさみなどで切断し、奥側の窓に貼り付けて使用してください。

※ スポンジが不足した場合は、市販の似たサイズのスポンジを使用してください。

(例)

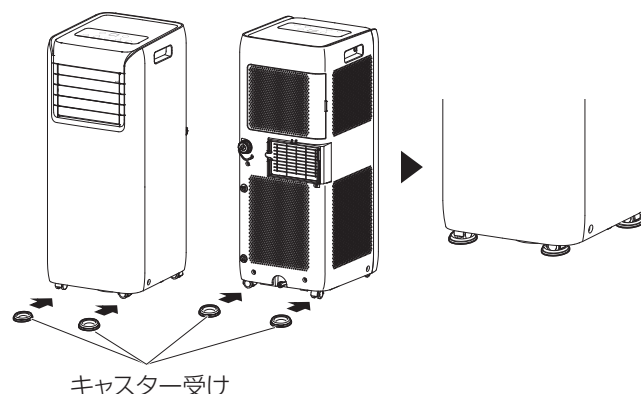


■ キャスター受けについて

本製品を長時間同じ場所で使用すると、床に傷がついたり、床の材質によってはキャスターの跡がつくことがあります。必要に応じてキャスター受けをご使用ください。

● 内部の水を捨ててから、キャスター受けをご使用ください。
水もれの原因になります。

● キャスター受けを使用するときは、製品を転倒させないように注意してください。
けがや、床または家具などを傷つける原因になります。



■ 連続排水をするときの準備 (排水ホースの取り付け)

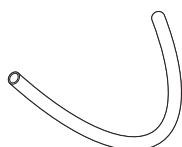
冷風運転時および除湿運転時にH8（ドレン水が満水）の発生頻度が多い場合や、湿度がより高い場所で使用する場合は必要に応じて排水ホースを取り付けて連続排水してください。



- ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取りはずさない。
水もれの原因になります。

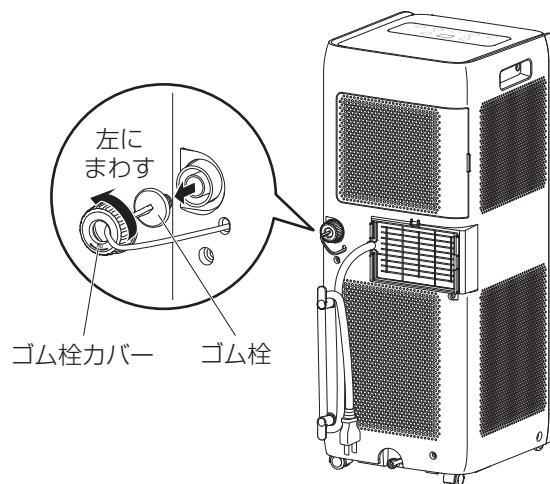
- 冷風運転時、除湿運転時に連続排水で使用するときは、排水ホースの取り付けをしてください。
- 排水の容器の水量やホースの外れ等を確認してください。
- 運転した後にゴム栓をはずすと、中に残っている水がこぼれることがあります。
- 就寝時など、排水の状況を確認できないときは、連続排水をしないでください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。

1 付属品の排水ホースを準備する



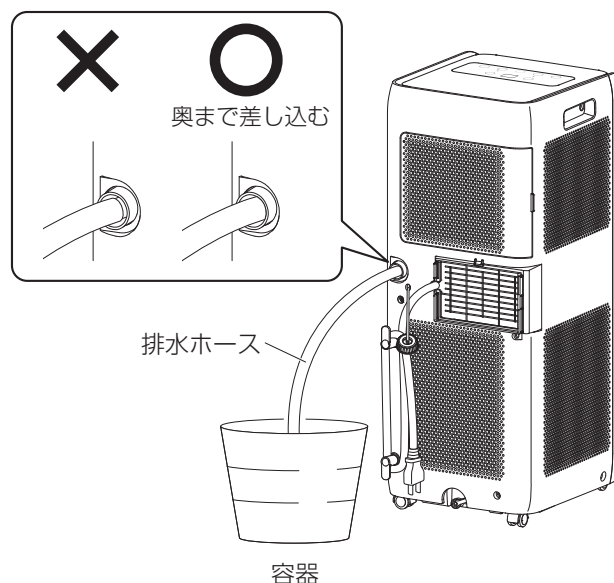
2 背面にあるゴム栓カバーを左にまわして取りはずし、ゴム栓をはずす

- ・ 運転した後にゴム栓をはずすと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



3 排水ホース取付口に排水ホースを取り付ける

- ・ 排水ホースは奥まで取り付けてください。
- ・ 排水ホースを取り付けて連続排水するときは、はずしたゴム栓またはゴム栓カバーは使用しません。連続排水しないときは、ゴム栓とゴム栓カバーを取りつけて使用しますので、大切に保管してください。
- ・ 容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。また、就寝時など、排水の状況を確認できないときは、連続排水をしないでください。



使いかた

■冷風運転



注意

- 湿度が高い場所で運転すると、ドレン水がたまりやすくなります。ドレン水が満水になると本体表示部にH8が表示されて運転が停止します。

停止したときは、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内にたまったドレン水を排水してください。

ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床をぬらす原因になります。

- 排水しても、本体表示部にH8が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。



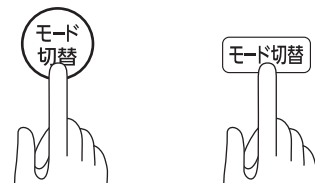
- 温度／タイマーボタン（－／＋）を1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- 経済的な使い方として26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- 設定温度は、16℃～30℃です。
- 部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。ファンは連続運転をします。
- リモコンの電源 切／入ボタンで再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回リモコンで設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。
- リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始（電源 切／入）と入タイマーの設定（切／入タイマー）以外は、リモコンでの操作ができません。電源 切／入 ボタンを押してOPER表示を点灯してから操作してください。
- 冷風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFします。

- 1 本体またはリモコンの電源 切／入ボタンを押す



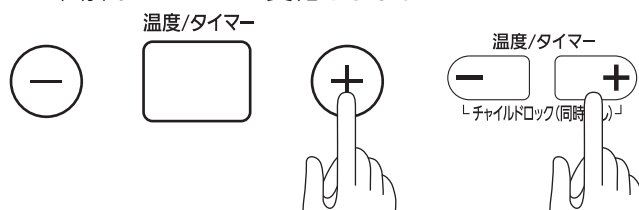
- 2 本体またはリモコンのモード切替ボタンを押して、冷風に合わせる

- ・本体またはリモコン表示部に現在の運転モード、風量設定、設定温度が表示されます。

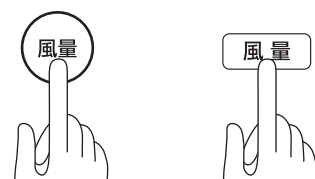


- 3 本体またはリモコンの温度／タイマーボタン（－／＋）を押す

- ・1回押すごとに1℃変化します。

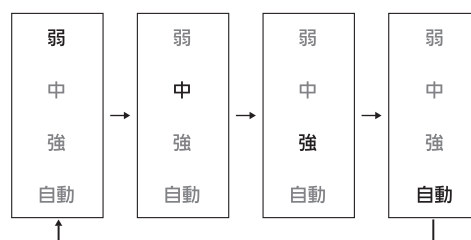


- 4 本体またはリモコンの風量ボタンを押して風量を選ぶ



- ・本体またはリモコンの風量ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



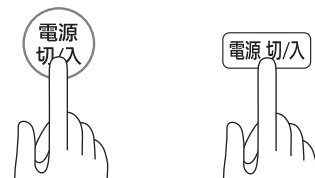
リモコン表示



- ・風量が自動の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

運転を止める

- ・運転中に、本体またはリモコンの電源 切／入ボタンを押します。



■除湿運転



- 湿度が高い場所で運転すると、ドレン水がたまりやすくなります。ドレン水が満水になると本体表示部にH8が表示されて運転が停止します。

停止したときは、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内にたまったドレン水を排水してください。

ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床をぬらす原因になります。

- 排水しても、本体表示部にH8が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。



- 設定温度の変更はできません。(リモコン表示部に温度が表示されますが、変更はできません)
- 風量は、弱風となり変更はできません。
- リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始(電源 切/入)と入タイマーの設定(切/入タイマー)以外は、リモコンでの操作ができません。電源 切/入 ボタンを押して、OPER表示を点灯してから操作してください。
- 室温に応じてコンプレッサーがON・OFFします。
- 除湿運転時におやすみ運転は設定できません。リモコンの表示では設定されたような表示となりますが、おやすみ運転はしませんのでご注意ください。

- 1 本体またはリモコンの電源 切/入 ボタンを押す



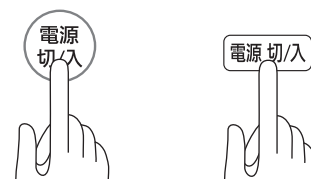
- 2 本体またはリモコンのモード切替ボタンを押して、除湿に合わせる

- ・本体およびリモコン表示部に現在の運転モード、風量設定が表示されます。



運転を止める

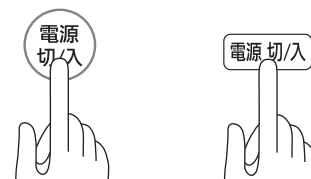
- ・運転中に、本体またはリモコンの電源 切/入 ボタンを押します。



■換気（送風）運転

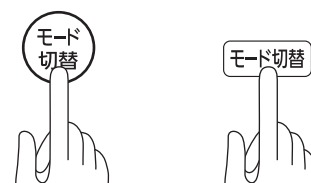
- 設定温度の変更はできません。(リモコン表示部に温度が表示されますが、変更はできません)
- 換気（送風）時におやすみ運転は設定できません。リモコンの表示では設定されたような表示となりますが、おやすみ運転はしませんのでご注意ください。

- 1 本体またはリモコンの電源 切/入 ボタンを押す

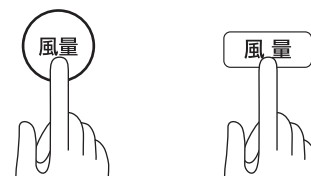


- 2 本体またはリモコンのモード切替ボタンを押して、換気（送風）に合わせる

- ・本体およびリモコン表示部に現在の運転モード、風量設定が表示されます。



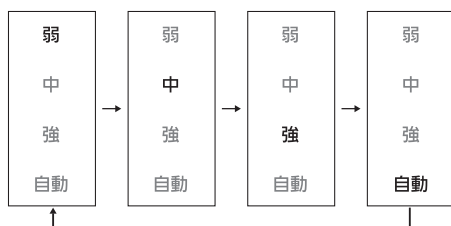
- 3 本体またはリモコンの風量ボタンを押して、風量を選ぶ



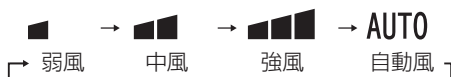
使いかた つづき

- 本体またはリモコンの**風量**ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



- 風量が**自動**の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

運転を止める

- 運転中に、本体またはリモコンの**電源 切/入**ボタンを押します。



■切タイマー運転

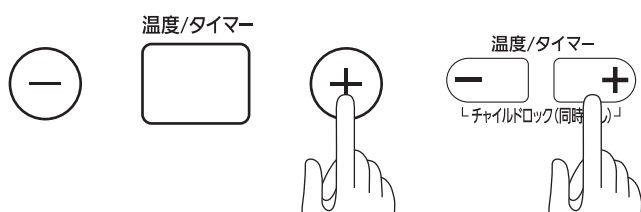
設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

- 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合でも設定は解除されません。
- 切タイマーは運転停止中では設定できませんので、運転中に切タイマー予約をしてください。

1 運転中に本体またはリモコンの切/入タイマーボタンを押す



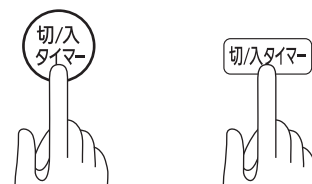
2 本体またはリモコンの温度/タイマーボタン(-/+)を押す



- 本体で設定中は、**切/入タイマー**ランプが点滅します。
- リモコンで設定中は、切タイマー機能の設定が点滅します。
- お好みの時間に設定します。
(最小0.5時間、最大24時間までです。)
- 本体では、1回押すごとに10時間までは0.5時間、10時間以上は1時間ずつ変化します。
- リモコンでは、0.5時間ずつ変化します。ただし、本体表示部には表示されません。

3 本体またはリモコンの切/入タイマーボタンをもう一度押す

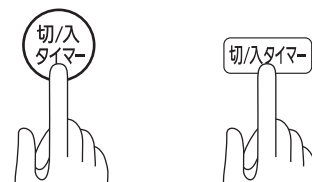
- タイマー運転を開始します。



- 本体での設定では何もボタンを押さなくても、約5秒後点灯に変わりタイマー運転を開始します。
- 本体の**切/入タイマー**ランプは点灯にかかります。
- リモコンの表示は切タイマー機能の設定が点灯にかわり時間表示が設定温度表示にかかります。

切タイマー運転を取り消す

- 本体またはリモコンの**切/入タイマー**ボタンを押してください。



- 本体の**切/入タイマー**ランプとリモコンの**切タイマー**表示が消灯します。

■入タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

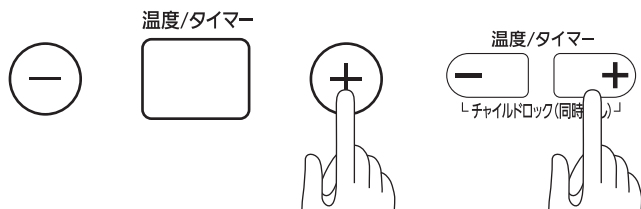
- 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合でも設定は解除されません。
- 入タイマーは運転中では設定できませんので、運転を停止させてから、入タイマー予約をしてください。

1 停止中に本体またはリモコンの切／入タイマーボタンを押す



- ・リモコン操作はリモコン操作表示OPERが消えていることを確認してから行ってください。OPER表示が点灯しているときは、電源切／入ボタンを押して消してください。

2 本体またはリモコンの温度／タイマーボタン(－/＋)を押す



- ・本体で設定中は、切／入タイマーランプが点滅します。
- ・リモコンで設定中は、切タイマー機能の設定が点滅します。
- ・好みの時間に設定します。(最小0.5時間、最大24時間までです。)
- ・本体では、1回押すごとに10時間までは0.5時間、10時間以上は1時間ずつ変化します。
- ・リモコンでは、0.5時間ずつ変化します。ただし、本体表示部には表示されません。

3 本体またはリモコンの切／入タイマーボタンをもう一度押す

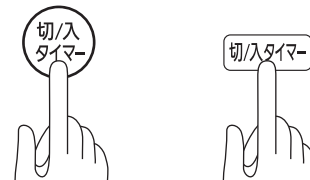
- ・タイマー運転を開始します。



- ・本体での設定では何もボタンを押さなくても、約5秒後点灯に変わりタイマー運転を開始します。
- ・本体の切／入タイマーランプは点灯にかわります。
- ・リモコンの表示は、入タイマー機能の設定が点灯にかわり、時間表示が設定温度表示にかわります。

入タイマー運転を取り消す

- ・本体またはリモコンの切／入タイマーボタンを押してください。



- ・本体の切／入タイマーランプとリモコンの入タイマー表示が消灯します。

■おやすみ運転

- おやすみ運転は冷風運転時のみ、設定ができます。
- おやすみ運転は冷え過ぎ防止運転であり、自動的に運転停止するタイマー運転ではありません。
- 除湿運転時、換気(送風)運転時におやすみ運転は設定できません。リモコンの表示では設定されたような表示となりますが、おやすみ運転はしませんのでご注意ください。
- おやすみ運転中に本体操作パネルで設定温度を変更した場合、おやすみ運転は一度リセットされ、その設定温度からおやすみ運転を再開します。
- おやすみ運転中にリモコンで操作をした場合、おやすみ運転は一度リセットされ、リモコンの設定温度からおやすみ運転を再開します。また、リモコンでおやすみ運転が選択されていないと、おやすみ運転は解除されます。

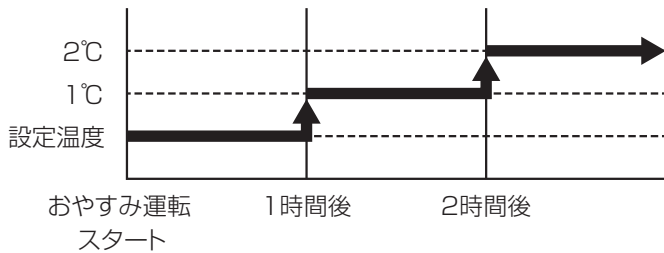
1 冷風運転中に本体またはリモコンのおやすみボタンを押す

- ・本体のおやすみランプが点灯します。
リモコンで設定時はおやすみ運転機能の設定が点灯します。



使いかた つづき

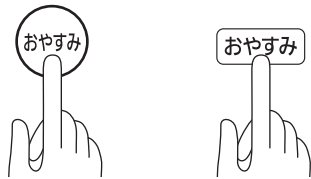
- ・おやすみ運転をすると、セット後約1時間たつと設定温度を1℃アップさせ、さらに1時間後（おやすみ運転をセットして2時間後）設定温度をもう1℃アップします。



- ・その後は、2℃アップした設定温度で運転を続けます。
- ・リモコンの設定温度表示は変更されません。
- ・設定温度の変更上限は30℃です。

おやすみ運転を取り消す

- ・もう一度おやすみボタンを押すとおやすみ運転が取り消されます。



内部清浄機能の設定

- 内部清浄は冷風、除湿運転時に設定ができます。
- 内部清浄は、運転停止後しばらくの間ファンをまわして製品内部の熱や湿気を吐き出す機能です。

1 リモコンの内部清浄ボタンを押して設定する

- ・リモコン表示部に内部清浄機能の設定が表示されます。
- ・設定された状態で電源を切ると、内部清浄運転が開始されます。
- ・数分間内部清浄運転したあと、自動的に停止します。



設定を取り消す

- ・もう一度内部清浄ボタンを押すと、内部清浄機能が取り消されます。

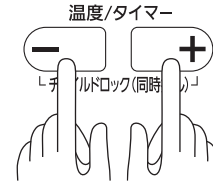


リモコンのチャイルドロック

- 製品本体にロックはかかりません。

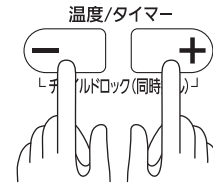
1 リモコンの温度／タイマーボタンの+と-ボタンを同時に押す

- ・リモコン表示部にロックの設定が表示されます。



設定を取り消す

- ・もう一度温度／タイマーボタンの+と-ボタンを同時に押すと、ロックが取り消されます。

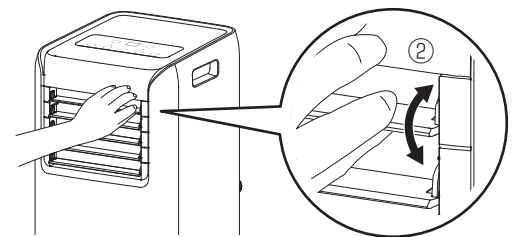
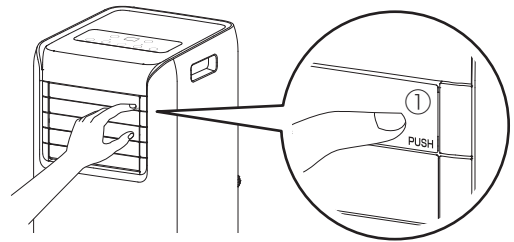


風向調節

- 吹出口や吸込口にピンや針などの金属物や、指を入れない。

内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。

- ① 上下風向板の右上のPUSHを押して手前に出す
- ② 上下風向板をつまみ、お好みの方向に調整する



お手入れ



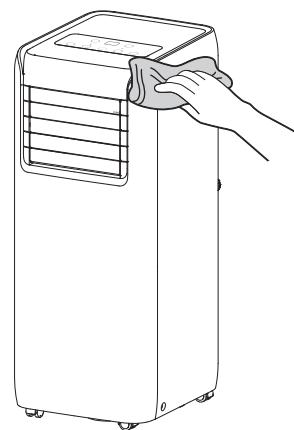
注意

- お手入れをするときは、必ず電源 切／入ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。

■本体のお手入れ

- 40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うと本体が変形することがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。

- ・柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・特に汚れがひどい場合は、かたく絞った布などで水拭きしてください。



■エアークフィルターの掃除



注意

- エアークフィルターをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、引きずって移動しない。
けが、水もれまたは床を傷つける原因になります。

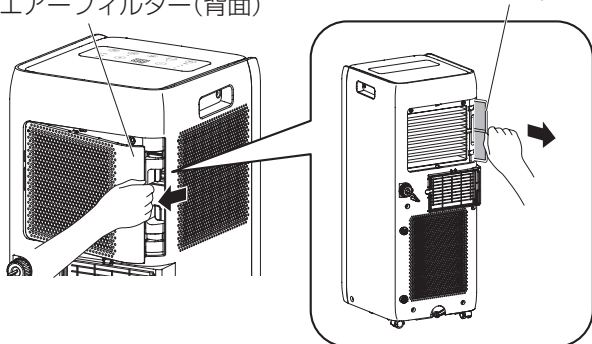
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。エアークフィルターが縮むことがあります。

シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

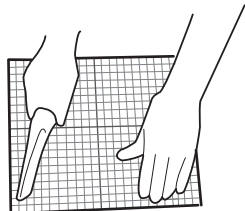
- ・エアークフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。

エアークフィルター(背面)

エアークフィルター(側面)



※エアークフィルター(背面)のカバーを取りはずしてから、エアークフィルター(側面)を取りはずしてください。



掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどいときは、水洗いしてください。

※エアークフィルター(背面)は背面カバーの内部にあります

※掃除が終了したら、取りはずした逆の手順でエアークフィルターを取り付けてください。

■保管のしかた

- ・ドレン水は必ず抜いてください。
- ・容器などで水を受ける準備をしたあと、下部排水口から内部の水を抜いてください。
- ・晴れた日に半日ほど換気(送風)運転をして、機器の内部を乾燥させてください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・エアークフィルター類を掃除して、取り付けしておいてください。
- ・排気ダクトを取りはずし、本体をビニールカバーなどで覆ってください。
- ・リモコンから乾電池を取り出してください。
- ・湿気の少ない、風通しのよい場所で保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●電源 切/入 ボタンが切になっている	●電源 切/入 ボタンを入にしてください。
	●水がたまっている (H8エラー)	●下部の排水口側から、あらかじめ用意した容器に水を捨ててください。
	●ヒューズが切れている	●アイリスコールにお問い合わせください。
冷えが悪い	●エアーフィルターが汚れている	●エアーフィルターを掃除してください。(→23)
	●お部屋の中に熱源(加熱中の調理器具など)がある	●冷風運転、除湿運転のときは、熱源を取り除いてください。
	●吹出口や吸込口・排気口がふさがっている	●ふさいでいるものを取り除いてください。
	●コンセントを単独で使していない	●コンセントは単独で使用してください。単独で使用しないと電圧が低下することがあります。
	●排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていない	●排気ダクトや窓パネルを正しく取り付けてください。(→P9 ~ 16)
停止直後に再運転できない	●3分以上経過後、電源を入にしてください。製品内部の保護機能がはたらき、3分程度運転が開始しない場合があります。	
運転モード変更直後に冷風が出ないことがある	●運転モードの切り換えを行っている	●その状態で数分お待ちください。
停電復帰後、運転ボタンを押さなくても運転を開始する 電源プラグを挿したと同時に運転を開始する	●運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止している	●運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止すると、通電後自動で運転を再開します。
音がする	●運転直後シューツという音がすることがある	●異常ではありません。冷媒液が流れる音です。
	●運転の開始または停止時に”ピシピシ”という音がすることがある	●異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
	●排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていない	●排気ダクトや窓パネルを正しく取り付けてください。(→P9 ~ 16)

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
リモコンの表示と違う動作をする	● 本体操作パネルで操作したことで、リモコンの液晶表示の設定から各設定が変更になった	● リモコンの電源ボタンを押して本体の電源を切／入してから、再度使用してください。
運転音が大きい	● 製品を置く設置面が弱かったり、傾斜している	● 正しく設置してください。(→P9)
	● エアーフィルターが正しく取り付けられていない	● 正しくエアーフィルターを取り付けてください。
においがする	● 運転中に吹き出す風がにおうことがある	● 本体やエアーフィルターをお手入れしてください。(→P23)
リモコンの温度表示が摂氏(℃)ではない	● 華氏(°F)表示になっている	● モード切替ボタンと「-」ボタンを同時に押して、摂氏(℃)と華氏(°F)を切り替えてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造しないでください。

エラーが表示されたときは

次のようなエラーが表示されて停止したときなどは、以下の点を確認してください。

※ アイリスコールへご相談いただく際には、エラー表示について、下記の読みでお伝えください。

英数字コード	原 因 ・ 処 置
エイチ・ハチ H8	ドレン水が満水になっています。 排水方法にしたがって、排水を行ってください。(→P18～)
エフ・ゼロ F0	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 製品内部の異常を検知しています。直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。
エフ・イチ F1	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 温度センサーの異常を検知しています。直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
エフ・ニ エフ・ヨン F2 F4 または	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 配管センサーの異常を検知しています。直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
イー・ハチ エイチ・サン E8 H3 または	運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 過熱防止保護装置が働いています。排気口周辺に排熱を妨げるものがあれば、取り除いてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。

仕様

電源	100V 50/60Hz
冷風能力	2.0/2.2kW
消費電力	755/870W
電流	8.7/8.8A
冷媒	R410A
冷媒封入量	270g
電源コード	約1.9m
本体寸法	幅286×奥行320×高さ700mm
質量	22kg

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

冷風能力については当社自主基準の下記条件で測定した値です。

- (1) 冷風能力は、空気条件30℃、相対湿度70%強運転時の値です。
 - (2) 「/」で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
- なお、使用環境や使用状況により商品の性能が異なる場合があります。

冷媒に関する注意



この家庭用ポータブルクーラーには、GWP（地球温暖化係数）が2090のフロン類（R410A）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住いの地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

- 標準的な使用条件にもとづく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS C 9921-3に基づく）

環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度（室内）	27℃（乾球温度）
	湿度（室内）	47%（湿球温度：19℃）
	設置条件	標準的な設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1年間の使用日数（東京モデル）	6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間／日
	1年間の使用時間	1,008時間



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用のポータブルクーラーの点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする
- ブレーカーが頻繁に落ちる
- 電源コードに破れがある
- 運転音が異常に大きい
- その他の異常や故障がある



ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

ポータブルクーラー IPA-2202G

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：本体 1年間 冷媒回路（圧縮機・熱交換器・本体配管）3年間	
お客様	お名前	※販売店	住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒 電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

- お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス

